

32. 文部科学省科学技術推進事業「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」受講生の「放射線事故医療研究会」への参加

(学内対応分)

実施時期又は期間

- ①平成23年8月27日
- ②平成24年9月8日

対応部局及び人員

- ①受講生7名（青森県庁職員等の社会人），被ばく医療総合研究所教員（引率）
- ②受講生4名（三沢病院医師等の社会人），被ばく医療総合研究所教員（引率）

実施の背景・目的

平成22年度から開始した「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事業は被ばく医療に係わる人材育成を目的としており，放射線事故医療研究会では福島原発事故についての最新情報等が得られることから，事業の講義の補完の場として受講生を参加させた。

実施概要

放射線事故医療研究会は，①は「東京電力福島第一原発事故を受けた緊急被ばく医療支援体制の構築に向けて」をテーマに国際医療福祉大学（埼玉県和光市），②は「緊急被ばく医療の原点に帰る次世代へのメッセージ」をテーマに（独）放射線医学総合研究所（千葉県千葉市で開催され，数多くの被ばく医療専門家による基調講演，シンポジウム，パネルディスカッション等が行われた。当研究会には，本学被ばく医療プロフェッショナル育成計画の受講生が①に7名，②に4名参加し，福島原発事故に関する最新情報を学ぶことができた。

効果又は結果

研修会で得られた福島原発事故に関する最新の貴重な情報は，被ばく医療の重要性と，受講生各人の事業への取り組みの姿勢を再認識させた。

今後の課題

事業期間平成22年度～26年度となっている「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事業継続のための財源の確保。

担当部局名

被ばく医療総合研究所

JAMMRA Japanese Association for Medical Management of Radiation Accident

第16回 放射線事故医療研究会
緊急被ばく医療の原点へ帰る
次世代へのメッセージ

日時 平成24年9月8日(土) 10:00～18:00 (9:30開場)
場所 放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟大会議室
大会長 明石真吾 (放射線医学総合研究所 理事)

プログラム

10:00 開会 大会長挨拶
10:20 基調講演 「緊急被ばく医療の過去と未来」
座長 鈴木元 (京都医療福祉大学クリニック)
演者 前川昭彦 (フジホ/門診形外科病院)
11:05 報告 「東電福島第一原発事故対応における放射線研の活動、放射線研の構築」
座長 白根敬堂 (JAEA)
演者 明石真吾 (放射研) 栗沢俊佑 (放射研)
13:30 報告 1. 放射線と産婦人科 2. 学会への移行について
14:10 ハンズオンセッションI
「緊急被ばく医療における人材育成と人材確保」
座長 衣笠達也 (三重県工業振興) 須行貴美 (放射研)
ハシリスト 横山尚 (鹿児島大学) 船越健郎 (仙逝大学)
高利晴 (仙逝大学) 山本尚幸 (電子力学総合研究所)
立崎英夫 (放射研)
16:00 ハンズオンセッションII
「東電福島第一原発事故の環境対応と課題」
座長 前川昭彦 (フジホ/門診形外科病院) 渡利晴 (仙逝大学)
ハシリスト 森村尚賢 (徳島県立大学) 尾崎千枝 (仙逝大学)
野口敦文 (徳島県立大学) 宮坂志博 (放射研)
藤巻隆子 (放射研)
17:40 閉会 次期会期報告

大会事務局 放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究会
TEL: 043-209-3110 FAX: 043-209-4295 E-mail: jammr@jammr.ac.jp

第16回放射線事故医療研究会プログラム